



白山市発達相談センター主催
子育て療育講座・グループコース

「読み書き障害のある子の子育て」

～家族が出来るサポート・デイジー教科書の紹介を中心に～

読み書き障害のある小中学生のお子さんをお持ちの保護者の方に、当センター職員が、子育てのコツ、家庭での宿題サポートの方法、家庭学習の方法、デイジー教科書の利用等についてお話する、少人数対象の子育て講座です。

講話の後には、質問会・座談会を設けています。大人数の講演会では聞きづらいこともお気軽にご質問ください。講師も交え、参加者全員で情報交換をする時間も設けます。第一部のみの参加も可能です。

【日時】 令和7年1月17日(金) 13時30分～15時

【場所】 白山市福祉ふれあいセンター2階 中会議室

【内容】 ■第一部 講話「読み書き障害のある子の子育て」

子育てのコツ、家庭での宿題サポート方法、家庭学習の方法、
デイジー教科書の紹介など

■第二部 質問会・座談会

講師に対する質問、他の保護者との情報交換を行います。

【対象】 読み書き障害のある小中学生の保護者 10名程度
(学校の先生、祖父母等の家族、支援者等の同伴可)

【講師】 白山市発達相談センター職員

【申込】 電話・FAX・直接当センター窓口まで

(電話) 076-276-8819

(FAX) 076-276-6291

保護者
対象

※読み書き障害とは？

学習障害のひとつのタイプとされ、知的な遅れや視聴覚障害がなく、十分な教育歴と本人の努力がみられるにもかかわらず、知的能力から期待される読字能力を獲得することに困難がある状態、と定義されます。通常は読み能力だけでなく書字能力も困難な人が多く、このことにより学業不振が現れたり、二次的な学校不適應などが生じることが多くみられます。

日本語はひらがな・カタカナ・漢字の3つの文字表記がありますが、ひらがなの学習障害は0.8～2.1%の有病率とされます。漢字や英語の学習障害はそれよりさらに多いとも見積もられていますが、文字別の有病率も含めた詳細なデータは今後の研究課題です。

【出典】厚生労働省 e-ヘルスネット「学習障害」(限局性学習症)より抜粋 一部改訂

白山市発達相談センター主催・子育て療育講座・グループコース

令和7年1月17日(金)
「読み書き障害のある子の子育て」

【参加申込み（提出・FAX用）】

| | |
|-------|------------------------------|
| 参加者氏名 | |
| 住所 | |
| 連絡先 | (自宅電話 携帯電話) |
| お子さん | 学校 年生 読み書き障害の診断 (有 ・ 無) |
| 連絡欄 | |

FAX 076-276-6291

(白山市発達相談センター宛)